



④ 極限まで薄幅とした形状とアルマイト表面処理後にロゴデザインを入れる手間のかかった仕上げが特徴。左右同時装着することで、深いバンク角を生み出す

⑤ ストライカーのノウハウをギルドデザイン製の技術で形にし、ブラックアルマイト仕上げとシルバー仕上げを用意。φ43mmフォークに対応する完全ホルトオンでオフセットは32mm設定



STRIKER STRIKER AERO DESIGN & BILLET PARTS

[photo & text] KAZU中西

ネイキッドだからこそ
こだわりたいカタチ

必要な剛性を確保しつつ軽量化を可能とするカーボンパーツ。そもそも宇宙開発の現場や四輪のF1からバイクへ、そしてストリートへと落とし込まれていった外装モディファイア術である。バイクの世界だけで言えば、レーシングマシンへの採用が知名度アップに貢献。本来の意である軽量化もさることながら、各メーカーのねらいや思いが形状、すなわちデザインに表れていた。

高性能リブレイスマフラーやステップなどのカスタムパーツで認知度の高い「ストライカー」。パーツ開発だけでなく、同ブランドのサポートショップ「ストライカーシステム横浜」が長年のカスタムを通して数多くのユーザーと接するなかでカーボンパーツを使用することも多かったわけだが、近年では軽量化プラスαの要素を求める声が増えてきたという。ならば、その要望にお応えしつつ「ストライカーが考える『カッコよさ』を形にしてみよう!」と考え新ブランドを設立。それが「ストライカー! エアロ・デザイン」SADである。その第1弾となるのがゼファー1100/750用に開発・製造された「フェンダー&チェーンカバー」だ。使用するマテリアルのメインはウエットカーボンだが、ゲルコート仕上げのFRPもラインナップする。特

徴は既存製品にはなかったスタイリングへのこだわりである。レースシーンでつちかかってきたノウハウをベースに、数多くのゼファーカスタムを手がけてきたからこそ知れたユーザーの要望を採り入れつつ、オリジナルデザインをミックス。高い実効果はさることながら、ゼファー1100のツボにくるスタイリングにまとめ上げられている。

さらにゼファー1100に関しては、走りの泣きどころとなる部分についてもパーツを新開発。それがピレットバルシングカバーである。これはSADカーボンパーツ同様に機能性とスタイリングへのこだわりを高次元で融合させたデザインが特徴。テイスト・オブ・ツクバへの参戦車両にも採用されており、極限のナロー仕上げが深いバンク角に貢献するのは想像に難くないだろう。

一方ゼファー750用としてはピレットシステムキットを新開発。ステムの高剛性化はフロントタイヤの接地感向上だけでなくサスペンションセッティングの出しやすさにも貢献し、安心感を与えてくれるもの。見た目以上の換装効果をもたらしてくれるパーツだが、その実効果だけでなく機能美へのこだわりとリーズナブルな価格を両立していることも見逃せないポイントだ。

機能性一辺倒ではない
スタイリングへの追求

ネイキッドだからできること、ネイキッドゆえにこだわりたいもの。それを具現化したアイテムである。



① ノーマルホイールに対応するSADカーボンチェーンカバー。しなやかさと軽さ、カーボンゆえの強じんさをスタイリングに反映させたデザインである



② ゼファーレーサーでつちかかったノウハウをベースにスタイリングを追求。チェーンカバー一体型で使い勝手も良い。ノーマルスイングアーム用、ウイヤー製スイングアーム対応用あり



③ SADの最大の特徴は、これまでになかったスタイリング。ノーマルホイール&フォーク対応品と17インチ用を共用せず、あえて別設定としてリリースしているあたりにこだわりを感じる